



# アサリ

主な漁業と漁期

おかがき・ながえ：周年

## 生態

アサリは我が国を代表する二枚貝であり、干潟や浅海域の重要な漁業資源として知られています。

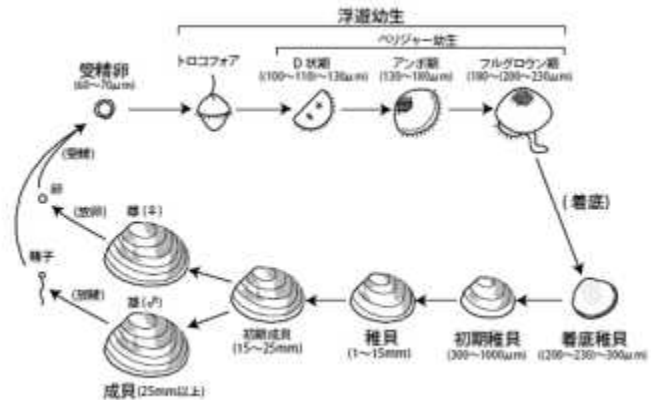
### ●分布

サハリンから日本、朝鮮半島、中国の沿岸に分布し、潮間帯から水深10m程度の砂礫泥底に生息しています。静岡県沿岸にも広く分布していますが、まとまった生息域としては浜名湖が有名です。

### ●成長・産卵

成長速度は生息環境や成長段階(年齢)によって異なることが知られており、浜名湖では殻長20mmに達するまでに概ね1年前後かかります。

浜名湖に生息するアサリの産卵期は、春と秋の年2回あります。また春は、漁獲されるアサリの身入りが良いことから旬とされています。



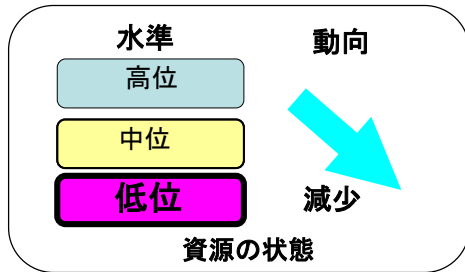
アサリの生活史  
(藤井 2010,環境管理39号より引用)

### ●初期生活史

親貝は海水中に産卵・放精し、受精卵を経て孵化した幼生は2~4週間の浮遊生活を送ります。浮遊幼生は、体の構造を変えながら着底期を迎え、干潟などに着底して底生活に入ります。

## 漁業・資源動向

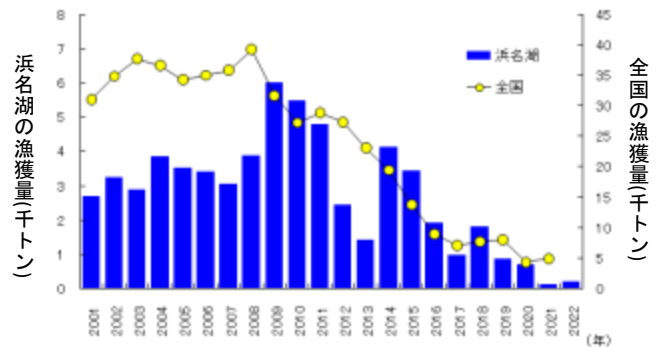
### 【資源】



浜名湖のアサリ資源状況を把握するため、2015年から湖内のアサリ主漁場における資源調査を実施しています。その結果や漁獲量の推移から、資源水準は低位、動向は減少と判断されます。

### 【漁獲量】

- 1 本県(浜名湖)のアサリ漁獲量は、1982年に7,832トンを記録しましたが、以降は全国と同様に減少傾向を示し、1992~2000年は2~3千トンで推移しました。
- 2 2001年以降、増加傾向となり、2009年には6千トンを超えましたが、その後大きく増減しながら、再び全国と同様に減少傾向となり、2021年には統計史上最低の100トンとなり、2022年は196トンとやや増加したものの過去2番目に低い値になりました。



浜名湖と全国のアサリ漁獲量の推移

### 【資源管理】

資源保護のため、漁業者は産卵時期による禁漁(2022年10月)や、1日当たりの漁獲量の上限設定(44kg/日・人)、殻長制限(約3cm以上漁獲)のほか、産卵させる親貝を確保するための産卵母貝場の設置など、積極的な資源増殖にも取り組んでおり、アサリ資源の回復に努めています。

担当者の一言：アサリを味わうには、酒蒸しが一番だと思います。

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場 053-592-0139